

JASRAC 寄付科目講師プロフィール

(アイウエオ順 敬称略)

<p>北澤尚登 (弁護士 (骨董通り法律事務所パートナー)、ニューヨーク州弁護士)</p> 	<p>1997 年東京大学法学部卒、米国デューク大学法学修士課程 (LL.M.) 修了。著作権ほか知的財産権法、およびエンタテインメント法分野を専門とする。論文に、「平成 24 年著作権法改正と大学への影響」(「大学時報」346 号)、「『グーグル・ブックス』米国クラスアクション和解のインパクト - 電子書籍の著作権処理をめぐる現状と課題」(共著：ジュリスト 2010 年 8 月 1-15 日合併号) 等。</p>
<p>北田暢也 (JASRAC 常任理事)</p> 	<p>1978 年社団法人日本音楽著作権協会入社後、大阪支部副支部長、企画部長、総務本部副本部長等を経て、2010 年より常任理事。主な論文は「日本音楽著作権協会著作権信託契約約款の改正」(「逐条解説著作権等管理事業法」収録、有斐閣 2001)、「ネットワーク時代における著作権管理事業の役割と現状」(「デジタルコンテンツの権利処理と契約に関する調査研究報告書」収録、(財) ソフトウェア情報センター 2002) など。</p>
<p>京俊介 (中京大学准教授)</p> 	<p>1982 年愛知県生まれ、大阪府育ち。大阪大学大学院法学研究科博士後期課程修了、博士 (法学)。日本学術振興会特別研究員、中京大学法学部講師を経て、現在中京大学法学部准教授。政治過程を実証的に分析する政治過程論の観点から、著作権法・知的財産法に関する政策形成過程を研究している。著書に『著作権法改正の政治学：戦略的相互作用と政策帰結』(木鐸社、2011 年) があり、同書で日本公共政策学会 2012 年度学会賞 (奨励賞) を受賞。</p>
<p>小六禮次郎 (作曲・編曲家)</p> 	<p>1949 年生まれ、岡山市出身。東京芸術大学音楽学部作曲科卒業。アジア太平洋国際映画祭最優秀音楽賞、日本アカデミー賞優秀音楽賞受賞。主な作品として世界劇「黄金の刻」、世界劇「眠り王」、映画「ゴジラ」「オーロラの下で」、NHK 大河ドラマ「功名が辻」「秀吉」、連続テレビ小説「さくら」「天うらら」、みんなのうた「いらっしゃい」、舞台「法然と親鸞」、女声合唱組曲「街角の歌たち」、ゲームソフト「決戦」シリーズ等、幅広く多方面にわたって活躍中。東京音楽大学映画放送音楽コース教授。</p>
<p>作花文雄 (放送大学客員教授)</p> 	<p>文部科学省(旧文部省)入省後、内閣法制局参事官、生涯学習総括官、科学技術・学術総括官などを経て、平成 24 年 8 月より文化庁審議官及び内閣審議官(知的財産推進戦略本部事務局次長)。また、平成 14 年 4 月から現在まで放送大学客員教授。著書に、「詳解著作権法」(ぎょうせい)、「著作権法－制度と政策－」(発明協会)、「著作権法講座」(著作権情報センター) など。</p>

<p>椎名和夫（実演家・著作隣接権センターCPRA 運営委員）</p> 	<p>1973年吉田美奈子のサポートセッションとしてプロデビュ。その後、竹内まりや、井上陽水、RCサクセション、中島みゆき、来生たかお、徳永英明、アン・ルイス、SMAP、和田アキ子、BEGIN等の楽曲の編曲を担当。1986年には、中森明菜「DESIRE」で日本レコード大賞編曲賞。また作曲家としても、中島みゆき、アグネス・チャン、キャンディーズ等に作品を提供。また、山下達郎、中島みゆき、井上陽水らのライブサポートも行う。</p> <p>現在公益社団法人 日本芸能実演家団体協議会 常務理事、同実演家著作隣接権センター運営委員のほか、文化庁文化審議会著作権分科会専門委員などを務める。</p>
<p>高杉健二（日本レコード協会常務理事）</p> 	<p>1958年秋田県生まれ。1981年中央大学法学部卒業、住宅ローン会社を経て1997年日本レコード協会入社。法務部部长、事務局長等を経て、2011年から常務理事・事務局長。2002年度～2010年度まで文化審議会専門委員（著作権分科会）、現在一般社団法人私的録音補償金管理協会常任理事等を務める。</p>
<p>日向央（株）TBSテレビ 編成局メディアライツ推進部担当局次長</p> 	<p>1958年愛知県生まれ。1980年4月（株）東京放送入社、1983年6月からちょうど30年間、一貫して放送番組を中心とした著作権、契約関係の仕事に従事する。</p> <p><主著>「エンタテインメント法」（2011年、学陽書房）、「改正著作権法の注意点～「写り込み」と「違法ダウンロード刑事罰」～」（「月刊民放」2012年9月号）、「テレビの知的財産権の課題～「放送」に関する特別規定をみる」（「ジャーナリズム」2012年5月号）、「著作物とは何か～「アイデア」と「表現」をめぐって」（「月刊民放」2010年4月号）「著作権の正確な知識をもとう」（「月刊民放」2010年3月号）、「テレビ放送で肖像権はどこまで主張できるか?」（「ジャーナリズム」2009年5月号）、「常識判断に頼らず、繰り返し確認を」（「月刊民放」2009年3月号）「テレビ番組のネット利用はなぜ進まないのか」（「ジャーナリズム」2008年12月号）、「漫画の作画部分のみの利用にストーリー原作者の権利が及ぶかーキャンディ・キャンディ事件ー東京地裁平成11年2月25日判決の評釈」（「著作権研究」28号、有斐閣、2000年）この他、TBSテレビが隔月刊で発行する放送関係の情報誌「調査情報」に、02年7・8月号から、既に66回、「意外と知らない著作権A to Z」と題して、著作権の論稿、解説を連載している（現在連載継続中）。</p>
<p>福井健策（弁護士（日本・ニューヨーク州）／日本大学芸術学部 客員教授）</p> 	<p>1991年 東京大学法学部卒。1993年 弁護士登録。米国コロンビア大学法学修士課程修了（セゾン文化財団スカラシップ）など経て、現在、骨董通り法律事務所 代表パートナー。</p> <p>著書に「著作権とは何か」「著作権の世紀」（共に集英社新書）、「エンタテインメントと著作権」全4巻（編者、CRIC）、「契約の教科書」（文春新書）、「『ネットの自由』vs. 著作権」（光文社新書）ほか。専門は著作権法・芸術文化法。クライアントには各ジャンルのクリエイター、出版社、プロダクション、音楽レーベル、劇団など多数。国会図書館審議会・文化庁ほか委員・理事、think C 世話人、東京藝術大学兼任講師などを務める。</p> <p>http://www.kottolaw.com Twitter: @fukuikensaku</p>

別所直哉（ヤフー株式会社執行役員社長室長）



1981年慶應義塾大学法学部卒業、1999年ヤフー株式会社入社。法務部長、チーフ・コンプライアンス・オフィサー（CCO）兼法務本部長、政策企画本部長を経て2013年より現職。

甲野正道（明治大学理事長付特任補佐）



1981年文部省（現在の文部科学省）入省後、内閣官房内閣参事官（知的財産基本法準備室、知的財産戦略推進事務局）等をへて、2005年から7年まで文化庁著作権課長を務め、2010年から2012年7月まで東北大学理事。2012年8月より明治大学理事長付特任補佐。この間慶應義塾大学メディアデザイン研究科特別招聘教授（2008-2010）。著書に「現場で使える美術著作権ガイド」（共著、ブリュッケ）。